

読 院

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

【読響×アピロ】クラシック 二大傑作選



注目を浴びる
期待の新鋭・
石川星太郎が
登場。

昨年テレビで放映され絶賛!
今、最も注目を集める新鋭

指揮■石川 星太郎

土曜の午後に名曲を!

■ベートーヴェン

ピアノ協奏曲 第5番《皇帝》

変ホ長調 作品73

■ドヴォルザーク

交響曲 第9番《新世界から》

ホ短調 作品95

2015年

6月20日土 15時開演

14時15分開場

大田区民ホール・
アピロ大ホール

JR線・東急線「蒲田駅」東口徒歩3分

S¥4,500 A¥3,500

絶賛
発売中!

全席指定・消費税込み

U25 ※公演当日に残券がある場合、25歳以下の方を
対象としたU25シートを2,000円で販売します。

お申し込み・お問い合わせ

大田区民ホール・アピロ 03-5744-1600

On Line オンラインチケット <http://www.ota-bunka.or.jp/>

24時間対応(公演前日20時まで)

大田区民プラザ03-3750-1611/大田文化の森03-3772-0700

10時~20時/各館休館日を除く/ご予約は公演前日20時まで

読響チケットセンター 0570-00-4390 10時~18時・年中無休

<http://yomikyo.or.jp/>

託児サービスがございます(有料・要予約)。マザーズ0120-788-222(土日祝除く10:00~12:00、13:00~17:00)

都合により、曲目・出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。

未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

皇帝 & 新世界

©読響

日本を代表するオーケストラ
管弦楽 ■ 読売日本交響楽団

人気・実力ともに
日本を代表するピアニスト
ピアノ ■ 仲道 郁代

©Kiyotaka Saito

【主催】読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団、大田区文化振興協会

土曜の午後に贈る 《皇帝》と《新世界》

日本屈指のオーケストラである読売日本交響楽団が、毎年アリコで開催している人気企画。今年は、期待の新鋭指揮者・石川星太郎が登場し、ベートーヴェン《皇帝》とドヴォルザーク《新世界》という2つの傑作を指揮します。石川は、昨年と今年にテレビでも放映され話題を呼ぶなど、今、最も注目を集めている新鋭指揮者の一人です。《新世界》では、“家路”としても知られる哀愁漂う旋律や、激しいリズムによる迫力の管弦楽をお楽しみください。また、ピアノ協奏曲《皇帝》では、ベートーヴェン得意とする実力派・仲道郁代が、華麗なソロを披露。古典派らしい格調あふれる美の世界を、たっぷりとご堪能ください。

土曜の午後のひととき、オーケストラの温かな響きに包まれてみては? クラシック音楽の名曲が、皆様の心に深い感動をもたらすことでしょう。

読売日本交響楽団



Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

皇帝 & 新世界

国内屈指のオーケストラ、新鋭指揮者&ソリストが贈る“感動のひととき”

石川 星太郎 (指揮)

Seitaro Ishikawa, Conductor



次代を担う逸材として大きな期待を寄せられている新鋭指揮者。

1985年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業後、現在はロベルト・シューマン大学デュッセルドルフ・指揮科に留学中。指揮をハンス=マルティン・シユナイト、ゲルハルト・ボッセラに師事。ボッセに認められアシスタント指揮者としても活躍、研鑽を積んだ。2013年以降、ボッセの後任として神戸市室内合奏団の定期演奏会の指揮者を務める。レパートリーはバッハの宗教曲から現代音楽まで広範であり、ピアニストとしても現代曲独奏から歌曲伴奏にいたるまで幅広く活躍している。2006年以降は武生国際音楽祭にレギュラー出演しているほか、2014年10月にはスイス・ボズヴァイルの現代音楽アンサンブルの指揮者として招かれ、スイス国内ツアーワーを行った。読響には、2014年7月に「読響シンフォニックライブ」の公開収録で初登場。フォーレ(レクイエム)などの指揮で大成功を収め、衝撃的なデビューを飾る。今後、さらなる活躍に注目が集まる指揮者である。

仲道 郁代 (ピアノ)

Ikuyo Nakamichi, Piano



©Kiyotaka Saito

ベートーヴェン演奏で高い評価を得る実力派ピアニスト。

桐朋学園大学1年在学時に日本音楽コンクールで第1位、併せて増沢賞を受賞。その後も国内外での数々の受賞を経て、1987年にヨーロッパと日本で本格的な演奏活動をスタートさせた。「ベートーヴェン弾き」としての評価は、パーゴ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマー・フィルとのピアノ協奏曲全曲演奏や、2回におよぶピアノ・ソナタ全曲演奏などの実績により、不動のものとなった。日本の主要オーケストラの共演のほか海外との共演も多く、これまでにサラステ指揮フィンランド放送響、マゼール指揮フィツツバーグ響、バイエルン放送響及びフィルハーモニア管などに客演。読響とともにこれまでに多数共演。リサイタルのほか、映像や語りを交えた幅広い世代向けのコンサート、テレビ・ラジオ、CDなどで多彩な活躍を見せる。ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び、多数のCDをリリースしている。
<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

